

事業継続計画（BCP）

株式会社 C社

製造業（造船業）

- 文書分類 社外秘扱い文書
- 発行日 2012年×月×日
- 改訂 バージョン 1.0

目次

0. はじめに

- 0.1 本計画の目的 P1
- 0.2 企業概要(様式) P1

1. 基本方針



- 1.1 BCPの基本方針 P2

2. 計画



- 2.1 対象災害の特定(様式) P2
- 2.2 中核事業の決定(様式) P2
- 2.3 中核事業の業務分類(様式) P2
- 2.4 影響度評価と目標復旧時間の設定(様式) P2
- 2.5 各業務に必要な経営資源の確認(様式) P2
- 2.6 各業務が受ける被害の想定とリスク評価(様式) P3
- 2.7 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)の検討
(様式) P3

3. 実施および運用



- 3.1 災害発生時の対応フロー(手順書) P4
- 3.2 BCP対応体制表(手順書) P5
- 3.3 初動(インシデント)対応手順書(手順書 . . .) P5
- 3.4 BCP発動対応手順書(手順書) P5
- 3.5 復旧活動手順書(手順書) P5
- 3.6 財務計画(様式) P5

4. 教育・訓練



- 4.1 教育・訓練計画(様式) P5

5. 点検・是正・見直し(様式)

- 5.1 点検 P5
- 5.2 是正 P5
- 5.3 見直し P6

関係資料

【様式 : 企業基本情報】	7
【様式 : 中核事業の絞り込み】	7
【様式 : 中核事業の業務分類】	8
【様式 : 影響度評価と目標復旧時間の設定】	9
【様式 : 各業務に必要な経営資源の確認】	10
【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】	18
【様式 : 各業務の事業継続のための対応策（事前対応・緊急時対応）】	26
【様式 : 緊急時資金繰り計画書】	34
【様式 : 教育・訓練計画書】	35
【様式 : B C P運用チェックリスト】	36
【様式 : 従業員連絡先リスト・安否確認チェックシート】	37
【様式 : 主要先取引リスト】	38
【様式 : 避難計画・避難経路図】	41
【様式 : 備蓄品リスト】	42
【様式 : 従業員携帯カード】	44
【様式 : 災害情報収集先一覧】	45
【手順書 : 災害発生時の対応フロー】	46
【手順書 : B C P対応体制】	47
【手順書 : 初動対応「対策本部の設置」】	48
【手順書 : 初動対応「一次対応・二次災害の防止」】	49
【手順書 : 初動対応「社員の安否確認」】	50
【手順書 : 初動対応「被災状況の確認」】	51
【手順書 : B C P発動対応】	52
【手順書 : 復旧活動「顧客対応」】	55
【手順書 : 復旧活動「協力会社対応」】	56
【手順書 : 復旧活動「社員対応」】	57
【手順書 : 復旧活動「資材対応」】	58
【手順書 : 復旧活動「設備対応」】	59
【手順書 : 復旧活動「財務対応」】	60

0 . はじめに

0 . 1 本計画の目的

当社における本計画作成の目的は、次のとおりである。

- (1) 想定される災害が発生しても、被災を最小限にとどめるよう予めリスクの回避、低減、移転及び保有の対応策を講じる。
- (2) 想定される災害発生時に、従業員の人命の確保と負傷の回避を図る。
- (3) 万一被災しても、従業員の雇用の確保が図られる仕組みを作る。
- (4) 万一被災しても、商品の供給を維持し、継続した取引先との関係を構築するとともに、最終顧客への商品提供を途絶えさせない。
- (5) 事業中断にも、影響を受けない事業継続意識の高い企業体質の形成に繋げる。

0 . 2 企業概要

No.	項 目	内 容
1	会社名	株式会社 C社
2	住 所	大分県X市
3	業 種	船舶製造及び修理業・建設業
4	売上高(年間)	××(千円)
5	従業員数	××名
6	設立年(西暦)	××××年
7	主な顧客の種類(業種等)	一般船主
8	主な設備(機械・装置等)	第1船台、第2船台、第3浮きドック
9	事業の特徴	多種多様な船舶の建造

組 織 図

(省 略)

1. 基本方針

1.1 BCPの基本方針

当社は、事業継続計画を構築することで、従業員とその家族の安全を確保した上で、施設や設備を速やかに保全し、協力会社と共に早期の復旧活動体制を整え、企業存続とお客様からの信用を守ることを目指す。

2. 計画

2.1 対象災害の特定

当社の置かれた地理的リスク要因、過去の被災状況、今後可能性のある災害等を考慮し、当社の事業を継続する上で特に重要と思われる災害について検討した結果、当社の想定する対象災害は様式 の「想定災害の種類」欄の通りであり以下の2種とする。

(1) 震度6強程度の地震

(2) 津波

具体的には、地震においては、地震の揺れによる従業員、建物、設備等への直接災害。また、地震がもたらす社会インフラへの影響、仕入・販売先への災害等も想定する。

津波においては、従業員、建物、設備等への直接災害。また、社会インフラへの影響、仕入・販売先への災害等も想定する。

2.2 中核事業の決定

当社では、事業継続のため仮復旧活動を最優先することを対象とした重要事業の選定に際し、その選定要素として様式 の通り、売上シェアをあげる。この結果、現在の会社全体の売上の××%を占める「新造」を重要業務とする。

上記の結果、想定した災害による不測事態発生に係る業務の中断が発生した場合、「新造」の復旧を最優先し、全ての経営資源を集中した対応を図ることとする。

2.3 中核事業の業務分類

当社の重要業務である「新造」に関する業務プロセスおよびこれを行うのに必要な主要経営資源は様式 の通りである。

2.4 影響度評価と目標復旧時間の設定

各業務の災害による影響度評価と業務中断からの目標復旧時間は、様式 の通りである。なお、被災時は対策本部が被害状況を勘案し、目標復旧時間を再設定する。

2.5 各業務に必要な経営資源の確認

「新造」の各業務に必要な経営資源は様式 の通りである。

2.6 各業務が受ける被害の想定とリスク評価

当社が想定する対象災害について、経営資源ごとに影響が大きいと想定される被害は様式の通りである。

2.7 各業務の事業継続のための対応策（事前対応・緊急時対応）の検討

2.7.1 事前対応

災害による被害の低減を目的とし、経営資源（人、機械装置・設備、IT データ、通信、外注・サプライヤー、インフラ・その他）に対し、可能な限りの事前対応を行う。具体的には、様式の事前対応欄に記載された事項を実施時期に沿って行う。

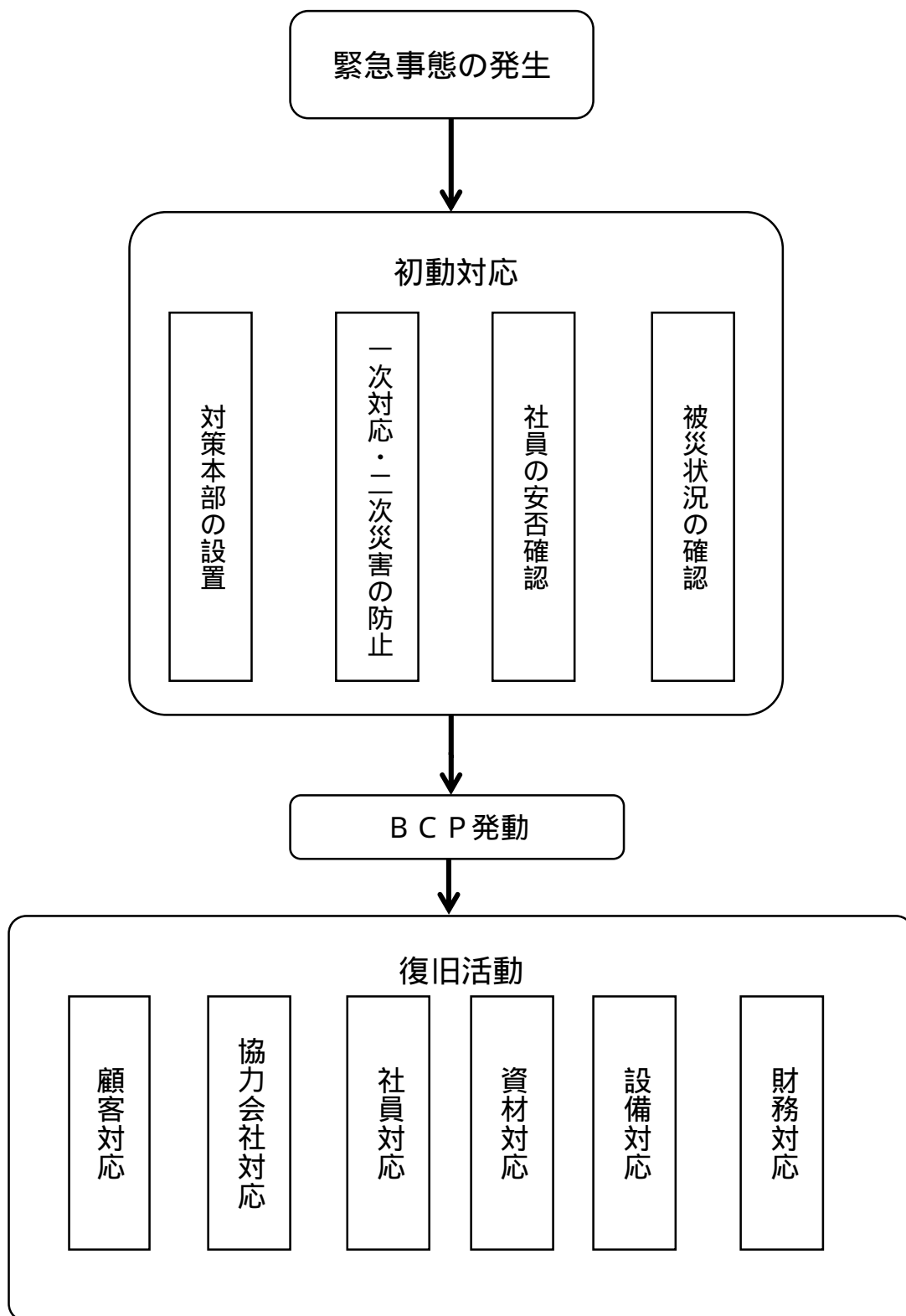
2.7.2 緊急時対応

BCPが発動された場合、中核事業の復旧を目的とし、被害を受けた各プロセスの経営資源に対し、様式の緊急時対応欄に記載された事項の対応を行う。

3. 実施および運用

3.1 災害発生時の対応フロー

当社の災害発生時の対応フローは、以下の通りである（手順書）。



3.2 BCP対応体制表

当社のBCP平時運用体制および災害時対策本部は、手順書 の通りである。

3.3 初動（インシデント）対応手順書

災害発生時の初動対応は、対策本部の設置、一次対応・二次災害の防止、社員の安否確認、被災状況の確認であり、手順書 ~ の通りである。

3.4 BCP発動対応手順書

BCP発動時の対応は手順書 - 1 ~ - 3の通りである。

3.5 復旧活動手順書

中核事業の復旧活動は、顧客対応、協力会社対応、社員対応、資材対応、設備対応、財務対応、であり手順書 ~ の通りである。

3.6 財務計画

財務管理班は、様式 を使い、BCP対応に係る財務計画を作成する。検討すべき内容は次のとおりである。

- (1) 被災に係る復旧費用の積算
- (2) 事業中断期間の損失（営業利益減）の積算
- (3) 手持ち資金の積算
- (4) 資金調達の是非の確認
- (5) 資金調達先の検討

BCP対策本部長は、この緊急時資金繰り計画書を確認し、実行の判断を行う。

4. 教育・訓練

4.1 教育・訓練計画

当社では、BCPへの意識定着を図るため、様式 の記載に則り教育・訓練を行う。

5. 点検・是正・見直し

5.1 点検

当社では、社長の指示の下、様式 のチェックリストに基づき、年に1回の点検を行う。

5.2 是正

当社では、教育・訓練の活動状況およびBCP運用チェックリストによる点検結果の確認を行い、不具合があれば是正措置を取りまとめる。

B C P管理担当者は、定められた期日以内に、取り纏めたB C P運用チェックリストの内容を精査し、不具合事項について改善、修正および追加の是正素案を立案する。

この是正素案に基づいて、年に1度（決算月）B C P会議を開催し、B C Pに係る教育・訓練の活動状況およびB C P運用チェックリストによる点検結果を確認し、状況に相応した是正措置等に関する協議を行い、是正案を取りまとめる。

5.3 見直し

経営陣は、B C P会議において取りまとめた是正案に基づいて、年に1度（決算月の翌月）見直し会議を実施する。

経営陣は、この会議の結果をもとに、必要に応じて、予算計画を含めたB C P計画全体の見直しを行う。

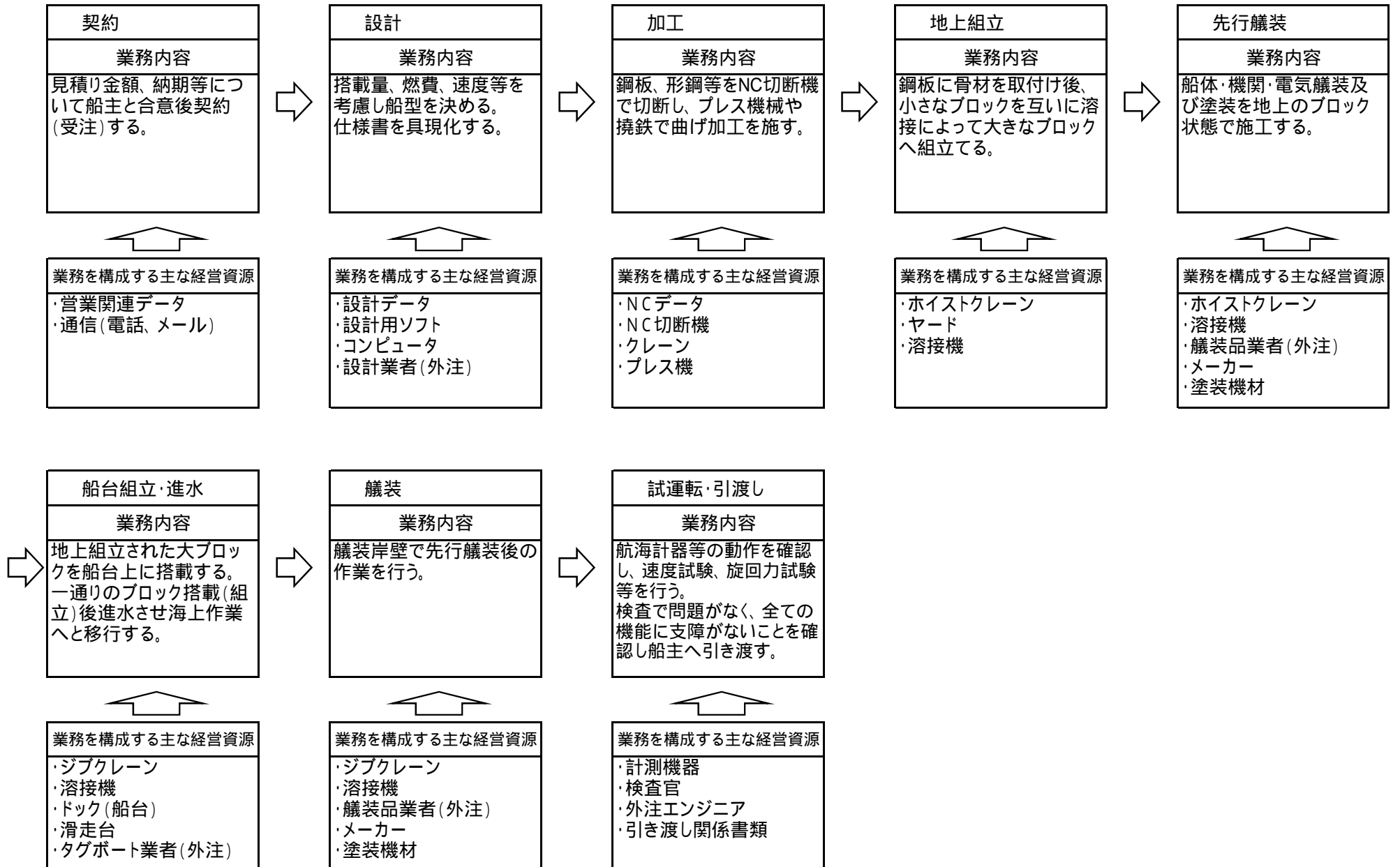
【様式 : 企業基本情報】

No.	項目	内容
1	会社名	株式会社 C社
2	住所	大分県X市
3	業種	船舶製造及び修理業 ・ 建設業
4	売上高(年間)	× × (千円)
5	従業員数	× × 人
6	設立年(西暦)	× × × × 年
7	主な顧客の種類(業種等)	一般船主
8	主な設備(機械・装置等)	第1船台 第2船台 第3浮きドック
9	事業の特徴	多種多様な船舶の建造
10	想定災害の種類	地震(震度6強) ・ 津波

【様式 : 中核事業の絞り込み】

No.	項目	内容				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1	商品・サービスの種類(事業)	新造	修理	建設	販売	
2	同上ごとの売上シェア(%)	× × %	× × %	× × %	× × %	
3	優先度理由	売上高(売上シェア)。修理は当社製造船のメンテナンスと引渡前の点検(他の方法で実施可能)が主であり、実施できる船種も限定的であるため、災害時の復旧優先度は低い。				
4	対象事業(範囲)の特定					

【様式 : 中核事業の業務分類】



【様式 : 影響度評価と目標復旧時間の設定】

中核事業名 [新造] … 目標復旧時間:30日

業務名	業務中断時間	金銭的な影響	取引先への影響	目標復旧時間	目標復旧時間決定の理由
契約	1日未満	小	小	2日	データのバックアップを取っている。
	1~3日	小	中		
	4~7日	小	大		
	8日~1ヶ月	小	大		
	2ヶ月目~3ヶ月	中	大		
	4ヶ月~	大	大		
設計	1日未満	小	小	3日	データのバックアップを取っている。
	1~3日	小	中		
	4~7日	小	大		
	8日~1ヶ月	小	大		
	2ヶ月目~3ヶ月	中	大		
	4ヶ月~	大	大		
加工	1日未満	小	小	30日	
	1~3日	小	小		
	4~7日	小	小		
	8日~1ヶ月	小	中		
	2ヶ月目~3ヶ月	中	中		
	4ヶ月~	大	大		
地上組立	1日未満	小	小	30日	
	1~3日	小	小		
	4~7日	小	小		
	8日~1ヶ月	小	中		
	2ヶ月目~3ヶ月	中	中		
	4ヶ月~	大	大		
先行艀装	1日未満	小	小	30日	
	1~3日	小	小		
	4~7日	小	小		
	8日~1ヶ月	小	中		
	2ヶ月目~3ヶ月	中	中		
	4ヶ月~	大	大		
船台組立・進水	1日未満	小	小	30日	進水から引き渡しまでの期間は船の大きさによって大きく変わる。
	1~3日	小	小		
	4~7日	小	小		
	8日~1ヶ月	小	中		
	2ヶ月目~3ヶ月	中	中		
	4ヶ月~	大	大		
艀装	1日未満	小	小	30日	
	1~3日	小	小		
	4~7日	小	小		
	8日~1ヶ月	小	中		
	2ヶ月目~3ヶ月	中	中		
	4ヶ月~	大	大		
試運転・引渡し	1日未満	小	小	10日	船が大きければ大きいほど時間がかかる。 ・登記、登録... × 週間程度 ・残工事、ファイナルドック(化粧直し)... × 週間程度
	1~3日	小	小		
	4~7日	小	小		
	8日~1ヶ月	小	中		
	2ヶ月目~3ヶ月	中	中		
	4ヶ月~	大	大		

【凡例】

大・中・小 大・中・小
無で記入 無で記入

影響度小: 事業への影響は多少あり
影響度中: 事業への影響は深刻な状態
影響度大: 事業への影響は極めて重大

【様式 : 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[契 約]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	人数	××人
	スキル	経験として船主との商談から契約書の作成に至るまでの実務経験は、××年以上は必要。契約書の作成については、中身を理解すれば××年以内でも作成できるが、商談から契約に至るまでのプロセスは一体なので、代替は容易ではない。
機械装置・設備	パソコン	ノートパソコン。汎用品で代替品あり。
	コピー機	汎用機。契約書の印刷。動かなくなった場合は手書きで代替可能。
IT・データ	積算データ	船価をエクセルで原価計算し、採算ラインを決定し、船主との商談によって、契約船価を決定する。個人のPCで管理。(バックアップの実施は個人によりバラツキがある)
	契約用様式データ	海運集会所の内航契約文書を元にワード文書で作成。個人のPCで管理。
	契約書	紙媒体。事務所に保管。
通信	社外メール	契約書の内容について、船主に確認作業を行う。
	社内メール(LAN)	契約書の内容を、営業部内で共有する。
	電話・ファックス	契約書の内容について、船主に確認作業を行う。
外注・サプライヤー		
インフラ・その他	電気	広域停電の際はパソコンが停止。自家発電装置を保有しており緊急時にある程度(本社工場の半分)の電力が確保される。

【様式 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[設計]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	人数	××人(基本設計)、××人(詳細設計)
	スキル	【基本設計】経験としてかなりの設計実務が必要で、社内の交代要員はいない。また、社外からの補充もかなり難しい。 【詳細設計】経験として××年程度の設計実務が必要で、基本設計に比べ(狭く、深い)より専門性が求められる。外注先が作成した設計図書をチェックする。社内の設計員数は各部署ぎりぎり、部内での交代要員はいない。また、社外からの補充もかなり難しい。
機械装置・設備	パソコン	デスクトップ、ノートパソコン。汎用品。
IT・データ	設計データ	過去のデータを参考に設計を行う。××××年以降は主にデータとしてサーバーに保存しているが、一部は紙媒体のものもある。××××年以前のは紙媒体で社内保存している。
	設計用ソフト	CAD、計算ソフト、データ管理ソフトの3種類。各自のPC端末で使用している。
通信	電話・ファックス	メーカーとの打ち合わせに使用。
	社外メール	メーカーとの打ち合わせに使用。
外注・サプライヤー	設計業者	当社で実施しない(ソフトが無い)専門設計を実施。市、県の業者に発注。
インフラ・その他	電気	広域停電の際はパソコンが停止。自家発電装置を保有しており緊急時にある程度(本社工場の半分)の電力が確保される。

【様式 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[加工]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	人数	【現図】××人、【NCオペレーター】××人、【曲げ加工】××人
	スキル	【現図】××人(責任者)、経験××年以上。××人(プログラマー)、育成は比較的容易であり補填は可能。 【NCオペレーター】××人(業者)、××日程で操作技術は取得可能。 【曲げ加工】××人(業者)、経験××年以上。ホイストクレーン技術、ガス溶接技能講習が必要。
機械装置・設備	NC切断機	県外業者()の受注生産品(製作期間××ヶ月)で代替機はなし。切断データ変換で他社(他メーカー機)での切断は可能。
	××tプレス機	代替機なし。1年毎に 市の専門検査業者による特定自主検査を受検。故障時は同社か 市の修理業者に依頼しているが、機種が古く交換部品も受注生産。注文した場合、納期は約××週間程。
	ホイストクレーン	スパン毎の特注品で代替機なし。××年毎にクレーン協会の性能検査を受検している。始業前、月例点検は作業員が行っている。故障時は市の業者に修理依頼。注文した場合、納期は××ヵ月程度。
IT・データ	NC切断データ	データとしてNC切断機単独のサーバーに保存している。CD-Rでバックアップを保管。
通信		
外注・サプライヤー	切断、曲げ型製造業者	市、 県の業者にNC切断機データの一部、曲げ型の製造を委託。
	協力会社(作業員)	××人
インフラ・その他	電気	広域停電の際は機械が停止。自家発電装置を保有しており緊急時にある程度(本社工場の半分)の電力が確保される。
	水道水	曲げ加工の冷却に必要。断水時は機械の稼働が不可能。
	ガス、酸素	集中タンクで一括保管し、配管を通して各現場に供給。集中タンクへの補充は業者。曲げ加工、切断に必要。
	エア	社内のコンプレッサーで製造。配管を通して各現場に供給。NC切断機に必要。

【様式 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[地上組立]

本社工場、A工場の2工場で実施。

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	人数	××人(当社社員)、××人(協力会社)
	スキル	【組立】経験××年以上。職安に求人を出しても補充も出来ていない状態。ホイストクレーン、ガス溶接技能講習、アーク溶接特教などが必要。 【溶接】経験××年以上。鉄工職に比べ補充は可能。アーク溶接特教が必要。
機械装置・設備	ホイストクレーン	スパン毎の特注品で代替機なし。×年毎にクレーン協会の性能検査を受検している。始業前、月例点検は作業員が行っている。故障時は市の業者に修理依頼。注文した場合、納期は××ヵ月程度。
	溶接機	汎用品。(アーク溶接機、CO2溶接機)
	組立ヤード	ホイストクレーン、溶接機及び生産ラインが一体となりヤードを形成している。
IT・データ	図面、作業指示書	組み立ての作業指示書。紙媒体で管理。
通信		
外注・サプライヤー	協力会社(作業員)	××人
	組み立て	主に市のブロック組み立て専門業者。
インフラ・その他	電気	広域停電の際は機械が停止。自家発電装置を保有しており緊急時にある程度(本社工場の半分)の電力が確保される。
	ガス、酸素	集中タンクで一括保管し、配管を通して各現場に供給。集中タンクへの補充は業者。溶接に必要。
	二酸化炭素	集中タンクで一括保管し、配管を通して各現場に供給。集中タンクへの補充は業者。溶接に必要。
	エア	社内のコンプレッサーで製造。配管を通して各現場に供給。各種機械(エアーツール)の動力源として必要。

【様式 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[先行艀装]

本社工場、A工場の2工場で実施。

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	人数	××人(当社社員)、××人(協力会社)
	スキル	【艀装】艀装、機関及び電装工事ごとに専門の知識と技量が必要。ホイストクレーン、ガス溶接技能講習、アーク溶接特教などが必要。 【運搬】クレーン免許、玉掛技能講習が必要。
機械装置・設備	ホイストクレーン	スパン毎の特注品で代替機なし。×年毎にクレーン協会の性能検査を受検している。始業前、月例点検は作業員が行っている。故障時は市の業者に修理依頼。注文した場合、納期は××ヵ月程度。
	ジブクレーン	スパン毎の特注品で代替機なし。×年毎にクレーン協会の性能検査を受検している。始業前、月例点検は作業員が行っている。故障時は県の業者に修理依頼。注文した場合、納期は××年程度。津波等での倒壊の可能性は非常に低い。
	溶接機	汎用品。(アーク溶接機、CO2溶接機)
	塗装機材	汎用品。(エアレススプレー)
IT・データ	図面、作業指示書	先行艀装の作業指示書。紙媒体で管理。
通信		
外注・サプライヤー	艀装品製作者	近隣の業者に、艀装品の製造を委託。
	メーカー	エンジン、ウインチ、航海計器などの仕入。大小××社以上。
	協力会社(作業員)	××人
インフラ・その他	電気	広域停電の際は機械が停止。自家発電装置を保有しており緊急時にある程度(本社工場の半分)の電力が確保される。
	ガス、酸素	集中タンクで一括保管し、配管を通して各現場に供給。集中タンクへの補充は業者。溶接に必要。
	二酸化炭素	集中タンクで一括保管し、配管を通して各現場に供給。集中タンクへの補充は業者。溶接に必要。
	エア	社内のコンプレッサーで製造。配管を通して各現場に供給。各種機械(エアーツール)の動力源として必要。

【様式 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[船台組立・進水]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	人数	××人(当社社員)、××人(協力会社)
	スキル	<p>【組立】経験××年以上。地上組立に比べ個々の現場判断が必要。高所作業車、ガス溶接技能講習、アーク溶接特教などが必要。</p> <p>【溶接工】経験××年以上。様々な溶接状態に対応できる技量が求められる。高所作業車、アーク溶接特などが必要。</p> <p>【歪取り】××年以上の経験が必要。</p> <p>【運搬業者】クレーン免許、玉掛技能講習が必要。</p> <p>【進水】船の滑走準備、船台作業、進水する船に乗船し係船作業を行う人員として合計××名程度必要。滑走準備及び船台作業には内容を熟知するのに××年、係船作業は船の装置の確認と係船慣れするのに××年は必要。</p>
機械装置・設備	ジブクレーン	スパン毎の特注品で代替機なし。×年毎にクレーン協会の性能検査を受検している。始業前、月例点検は作業員が行っている。故障時は 県の業者に修理依頼。注文した場合、納期は××年程度。津波等での倒壊の可能性は非常に低い。
	高所作業車	汎用品。リース機械で代替可能。
	溶接機	汎用品。
	船台	船台ゲート、固定滑走台、ジブクレーン、溶接機及び生産ラインが一体となり船台を形成している。船台は水平でなく、5%程の傾斜を有す。ゲートは津波などで流される可能性あり。
	油圧ジャッキ	船を押すために必要。汎用品。他のジャッキ等で代替可能。
IT・データ	図面、作業指示書	組み立ての作業指示書。紙媒体で管理。
通信	無線機	汎用品。船首と船尾の連絡、タグボートとの連絡に必要。船首と船尾の連絡は、手旗信号での代替が可能。
外注・サプライヤー	協力会社(作業員)	××人
	運搬業者	××人
	タグボート業者	進水した船を係船するまで本船を曳航する業者。代替業者有り。
インフラ・その他	電気	広域停電の際は機械が停止。自家発電装置を保有しており緊急時にある程度(本社工場の半分)の電力が確保される。
	ガス、酸素	集中タンクで一括保管し、配管を通して各現場に供給。集中タンクへの補充は業者。溶接に必要。
	二酸化炭素	集中タンクで一括保管し、配管を通して各現場に供給。集中タンクへの補充は業者。溶接に必要。
	エア	社内のコンプレッサーで製造。配管を通して各現場に供給。各種機械(エアーツール)の動力源として必要。
	水道水	歪み取りに必要。断水時は機械の稼働が不可能。
	軽油	高所作業車を動かすのに必要。

【様式 : 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[艀装]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	人数	××人(当社社員)、××人(協力会社)
	スキル	【艀装】艀装、機関及び電装工事ごとに専門の知識と技量が必要。ガス溶接技能講習、アーク溶接特教などが必要。 【運搬】クレーン免許、玉掛技能講習が必要。
機械装置・設備	ジブクレーン	スパン毎の特注品で代替機なし。×年毎にクレーン協会の性能検査を受検している。始業前、月例点検は作業員が行っている。故障時は 県 の業者に修理依頼。注文した場合、納期は××年程度。津波等での倒壊の可能性は非常に低い。
	溶接機	汎用品。(アーク溶接機、CO2溶接機)
	塗装機材	汎用品。(エアレスプレー)
IT・データ	図面、作業指示書	艀装の作業指示書。紙媒体で管理。
通信		
外注・サプライヤー	艀装品製作者	近隣の業者に、艀装品の製造を委託。
	メーカー	エンジン、ウインチ、航海計器などの仕入。大小××社以上。
	協力会社(作業員)	××人
インフラ・その他	電気	広域停電の際は機械が停止。自家発電装置を保有しており緊急時にある程度(本社工場の半分)の電力が確保される。
	ガス、酸素	集中タンクで一括保管し、配管を通して各現場に供給。集中タンクへの補充は業者。溶接に必要。
	二酸化炭素	集中タンクで一括保管し、配管を通して各現場に供給。集中タンクへの補充は業者。溶接に必要。
	エアー	社内のコンプレッサーで製造。配管を通して各現場に供給。各種機械(エアーツール)の動力源として必要。
	水道水	左官工事に必要。断水時は実施不能。

【様式 : 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[試運転・引渡し]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	人数	××人程度
	スキル	【海上試運転】船の検査を行う検査官が××名、船を操船する船長及び航海士、搭載機器の運転確認を行う機器メーカー、係船要員、データの計測要員等が必要。 【引渡し】船の引渡し当事者(社長)と式の進行員××名、立会××名。
機械装置・設備	ストップウォッチ	汎用品。本船の速力を計算するために必要。
	振動計測計	汎用品。本船の各部所での振動を計測するために必要。
	騒音計測計	汎用品。本船の居住区、機関室の騒音を計測するために必要。
	電子温度計	汎用品。機関室の外気温度及び主機関のクランクメタルの温度計測に必要。
	コピー機	汎用機。引渡書の印刷。動かなくなった場合は手書きで代替可能。
IT・データ	パソコン	汎用品。エンジンの計測、引渡書作成に必要。
	引渡書	引渡書(定型文)のデータ。控えは紙媒体で管理。
通信		
外注・サプライヤー	外注エンジニア	エンジン、航海計器、配電機器などのエンジニアが必要。主機関の作動確認とデータ計測を行う。代用は不可。
	検査官・船長・航海士	試運転の実施および試運転の評価を行う。
インフラ・その他	重油	船を動かすのに必要。
	電気	広域停電の際はパソコンが停止。自家発電装置を保有しており緊急時にある程度(本社工場の半分)の電力が確保される。

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[契約]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで、部員が転倒し負傷する。	3	1	3
	震度6強の地震の揺れで、道路が寸断され部員が出勤できず。	3	2	6
	津波で部員の家屋が崩壊または浸水し出勤できず。	3	2	6
機械装置・設備	震度6強の地震で、広域に停電しパソコン、コピー機が稼働できず作業が中断。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	1	2	2
	津波でパソコン、コピー機が浸水し、使用できなくなる。	1	3	3
IT・データ	震度6強の地震で事務所が崩壊し、パソコン、キャビネットとも破損しデータ喪失。(特に重要なのは積算データ)	3	2	6
	津波で事務所が浸水し、パソコン、キャビネットともデータ喪失。(特に重要なのは積算データ)	3	2	6
通信	震度6強の地震で通信網が遮断され、メール(社内・社外)、電話、FAXが使えず。	2	2	4
	津波でメール(社内・社外)、電話、FAXが遮断され使えず。	2	2	4
外注・サプライヤー				
インフラ・その他	震度6強の地震で、広域に停電しパソコン、コピー機は作動不可。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	3	2	6
	津波で自家発電装置が浸水した場合は給電不可。	3	3	9

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[設計]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで、部員が転倒し負傷する。代替要員の対応は不可。	3	1	3
	震度6強の地震の揺れで、道路が寸断され部員が出勤できず。代替要員の対応は不可。	3	2	6
	津波で部員の家屋が崩壊または浸水し出勤できず。代替要員の対応は不可	3	2	6
機械装置・設備	震度6強の地震で、広域に停電しパソコンが稼働できず作業が中断。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	1	2	2
	津波でパソコンが浸水し、使用できなくなる。	1	3	3
IT・データ	震度6強の地震で設計部建屋が損傷し、サーバー、設計ソフト等が一時使用不可。	2	2	4
	震度6強の地震で広域に停電し、サーバー、設計ソフト等が一時使用不可。	2	2	4
	津波による浸水で設計サーバーが消滅する。	3	2	6
通信	震度6強の地震で通信網が遮断され、メール(社外)、電話、FAXが使えず。	2	2	4
	津波でメール(社外)、電話、FAXが遮断され使えず。	2	2	4
外注・サプライヤー	震度6強の地震により、外注設計業者が被災。業務委託ができなくなった。	3	2	6
インフラ・その他	震度6強の地震で、広域に停電しパソコン、コピー機は作動不可。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	3	2	6
	津波で自家発電装置が浸水した場合は給電不可。	3	3	9

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[加工]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで、部員が転倒し負傷する。代替要員の対応は不可。クレーン作業中の場合、落下物が発生する可能性があり、負傷するリスクが高い。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、道路が寸断され部員が出社できず。代替要員の対応は不可。	3	2	6
	津波で部員の家屋が崩壊または浸水し出社できず。代替要員の対応は不可	3	2	6
機械装置・設備	震度6強の地震で、広域に停電しNC切断機等の機械装置の稼働が中断。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	2	2	4
	震度6強の地震の揺れで、ホイストクレーンが走行レールより落下し作業不可。代替機なし。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、NC切断機が脱線、倒壊し稼働不可。代替機なし。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、××プレスが倒壊しプレス作業が不可。	3	2	6
	津波で作業ヤードが浸水し、NC切断機等の機械装置が作動せず業務が中断。	3	3	9
IT・データ	震度6強の地震で設計部建屋が損傷し、NC切断機用のサーバーが一時使用不可。	2	2	4
	震度6強の地震で広域に停電し、NC切断データが一時使用不可。	2	2	4
	津波による浸水でNC切断データが消滅する。	3	2	6
通信				
外注・サプライヤー	震度6強の地震により、切断、曲げ型業者が被災。業務委託ができなくなった。	3	2	6
	協力会社の作業員が出社できなくなる。(詳細は「人」欄参照)	3	2	6
インフラ・その他	震度6強の地震で、広域に停電し機械装置は作動不可。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	3	2	6
	津波で自家発電装置が被災。給電不可。	3	3	9
	震度6強の地震で断水。曲げ加工が中断。	3	2	6
	震度6強の地震で、ガス、酸素の配管に亀裂が発生。供給不可。可燃ガスが漏れ、引火の恐れあり。	3	2	6
	津波でガス、酸素タンクが倒壊し供給不可。可燃ガスが漏れ、引火の恐れあり。	3	3	9
	震度6強の地震で、エア配管に亀裂が発生。送気不可。	3	2	6
津波でコンプレッサーが被災。送気不可。	3	3	9	

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[地上組立]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで、部員が転倒し負傷する。代替要員の対応は不可。クレーン作業中の場合、落下物が発生する可能性があり、負傷するリスクが高い。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、道路が寸断され部員が出社できず。代替要員の対応は不可。	3	2	6
	津波で部員の家屋が崩壊または浸水し出社できず。代替要員の対応は不可	3	2	6
機械装置・設備	震度6強の地震で、広域に停電し溶接機等の機械装置の稼働が中断。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	2	2	4
	震度6強の地震の揺れで、ホイストクレーンが走行レールより落下し作業不可。代替機なし。	3	2	6
	津波で組立ヤードが浸水し、溶接機等の機械装置が作動せず業務が中断。	3	3	9
IT・データ	津波で図面、作業指示書が紛失する。	1	2	2
通信				
外注・サプライヤー	震度6強の地震でブロック外注業者が被災。ブロック外注ができなくなった。	3	2	6
	津波でブロック外注業者が被災。ブロック外注ができなくなった。(ブロック業者は主に海岸沿いなので津波の被害を受けやすい。)	3	3	9
	協力会社の作業員が出社できなくなる。(詳細は「人」欄参照)	3	2	6
インフラ・その他	震度6強の地震で、広域に停電し機械装置は作動不可。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	3	2	6
	津波で自家発電装置が被災。給電不可。	3	3	9
	震度6強の地震で二酸化炭素配管に亀裂が発生。供給不可。	3	2	6
	津波で二酸化炭素タンクが倒壊し供給不可。	3	3	9
	震度6強の地震で、ガス、酸素の配管に亀裂が発生。供給不可。可燃ガスが漏れ、引火の恐れあり。	3	2	6
	津波でガス、酸素タンクが倒壊し供給不可。可燃ガスが漏れ、引火の恐れあり。	3	3	9
	震度6強の地震で、エア配管に亀裂が発生。送気不可。	3	2	6
津波でコンプレッサーが被災。送気不可。	3	3	9	

1:2:3で 1:2:3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[先行艀装]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで、部員が転倒し負傷する。代替要員の対応は不可。クレーン作業中の場合、落下物が発生する可能性があり、負傷するリスクが高い。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、道路が寸断され部員が出社できず。代替要員の対応は不可。	3	2	6
	津波で部員の家屋が崩壊または浸水し出社できず。代替要員の対応は不可	3	2	6
機械装置・設備	震度6強の地震で、広域に停電し溶接機等の機械装置の稼働が中断。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	2	2	4
	震度6強の地震の揺れで、ホイストクレーンが走行レールより落下し作業不可。代替機なし。	3	2	6
	津波でジブクレーンの給電装置が被災し稼働不可。ジブクレーンは耐震性が高く倒壊する恐れは低い。	3	2	6
	津波で溶接機、塗装機材が被災。作動不可。	2	3	6
IT・データ	津波で図面、作業指示書が紛失する。	1	2	2
通信				
外注・サプライヤー	震度6強の地震で艀装品外注業者が被災。艀装品製作外注ができなくなった。	3	2	6
	津波で艀装品外注業者が被災。艀装品製作外注ができなくなった。	3	3	9
	震度6強の地震でメーカーが被災。購入品が納入できなくなった。	3	2	6
	協力会社の作業員が出社できなくなる。(詳細は「人」欄参照)	3	2	6
インフラ・その他	震度6強の地震で、広域に停電し機械装置は作動不可。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	3	2	6
	津波で自家発電装置が被災。給電不可。	3	3	9
	震度6強の地震で二酸化炭素配管に亀裂が発生。供給不可。	3	2	6
	津波で二酸化炭素タンクが倒壊し供給不可。	3	3	9
	震度6強の地震で、ガス、酸素の配管に亀裂が発生。供給不可。可燃ガスが漏れ、引火の恐れあり。	3	2	6
	津波でガス、酸素タンクが倒壊し供給不可。可燃ガスが漏れ、引火の恐れあり。	3	3	9
	震度6強の地震で、エア配管に亀裂が発生。送気不可。	3	2	6
津波でコンプレッサーが被災。送気不可。	3	3	9	

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[船台組立・進水]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで、部員が転倒し負傷する。代替要員の対応は不可。クレーン作業中の場合、落下物が発生する可能性があり、負傷するリスクが高い。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、道路が寸断され部員が出社できず。代替要員の対応は不可。	3	2	6
	津波で部員の家屋が崩壊または浸水し出社できず。代替要員の対応は不可	3	2	6
機械装置・設備	震度6強の地震で、広域に停電しジブクレーン等の機械装置の稼働が中断。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	2	2	4
	津波で高所作業車が浸水し作動不可。	3	3	9
	津波でジブクレーンの給電装置が被災し稼働不可。ジブクレーンは耐震性が高く倒壊する恐れは低い。	3	2	6
	津波で溶接機等が被災。作動不可。	2	3	6
	津波で船台ゲートが流出。船台機能が崩壊。	3	3	9
	船台が災害の影響を受けて進水ができなくなる可能性は考えられない。	3	1	3
	進水時に油圧ジャッキは無くても影響ない。	1	2	2
IT・データ	津波で図面、作業指示書が紛失する。	1	2	2
通信	津波により事務所に保管している無線機が浸水し、使えなくなる。	1	2	2
外注・サプライヤー	協力会社の作業員が出社できなくなる。(詳細は「人」欄参照)	3	2	6
	震度6強の地震でタグボート業者が被災。業務委託ができなくなった。	3	2	6
	津波でタグボート業者が被災。業務委託ができなくなった。	3	3	9
インフラ・その他	震度6強の地震で、広域に停電し機械装置は作動不可。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	3	2	6
	津波で自家発電装置が被災。給電不可。	3	3	9
	震度6強の地震で二酸化炭素配管に亀裂が発生。供給不可。	3	2	6
	津波で二酸化炭素タンクが倒壊し供給不可。	3	3	9
	震度6強の地震で、ガス、酸素の配管に亀裂が発生。供給不可。可燃ガスが漏れ、引火の恐れあり。	3	2	6
	津波でガス、酸素タンクが倒壊し供給不可。可燃ガスが漏れ、引火の恐れあり。	3	3	9
	震度6強の地震で、エア配管に亀裂が発生。送気不可。	3	2	6
	津波でコンプレッサーが被災。送気不可。	3	3	9
	震度6強の地震で断水。歪取り作業が中断。	3	2	6
	震度6強の地震で交通路が遮断され、場外からの軽油の補給が不可。	3	2	6
	津波でガソリンスタンドが被害を受け、軽油の購入ができない。(高所作業車が動かせない)	3	2	6

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 Ⅰ：各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務：[艤装]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで、部員が転倒し負傷する。代替要員の対応は不可。クレーン作業中の場合、落下物が発生する可能性があり、負傷するリスクが高い。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、道路が寸断され部員が出社できず。代替要員の対応は不可。	3	2	6
	津波で部員の家屋が崩壊または浸水し出社できず。代替要員の対応は不可	3	2	6
機械装置・設備	震度6強の地震で、広域に停電し溶接機等の機械装置の稼働が中断。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	2	2	4
	津波でジブクレーンの給電装置が被災し稼働不可。ジブクレーンは耐震性が高く倒壊する恐れは低い。	3	2	6
	津波で溶接機、塗装機材が被災。作動不可。	2	3	6
IT・データ	津波で図面、作業指示書が紛失する。	1	2	2
通信				
外注・サプライヤー	震度6強の地震で市内の艤装品外注業者が被災。艤装品製作外注ができなくなった。	3	2	6
	津波で市内の艤装品外注業者が被災。艤装品製作外注ができなくなった。	3	3	9
	震度6強の地震でメーカーが被災。購入品が納入できなくなった。	3	2	6
	協力会社の作業員が出社できなくなる。(詳細は「人」欄参照)	3	2	6
インフラ・その他	震度6強の地震で、広域に停電し機械装置は作動不可。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	3	2	6
	津波で自家発電装置が被災。給電不可。	3	3	9
	震度6強の地震で二酸化炭素配管に亀裂が発生。供給不可。	3	2	6
	津波で二酸化炭素タンクが倒壊し供給不可。	3	3	9
	震度6強の地震で、ガス、酸素の配管に亀裂が発生。供給不可。可燃ガスが漏れ、引火の恐れあり。	3	2	6
	津波でガス、酸素タンクが倒壊し供給不可。可燃ガスが漏れ、引火の恐れあり。	3	3	9
	震度6強の地震で、エア配管に亀裂が発生。送気不可。	3	2	6
	津波でコンプレッサーが被災。送気不可。	3	3	9
震度6強の地震で断水。歪取り作業が中断。	3	2	6	

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[試運転・引渡し]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで、部員が転倒し負傷する。代替要員の対応は不可。クレーン作業中の場合、落下物が発生する可能性があり、負傷するリスクが高い。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、道路が寸断され部員が出社できず。代替要員の対応は不可。	3	2	6
	津波で部員の家屋が崩壊または浸水し出社できず。代替要員の対応は不可	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、道路が寸断され社長他営業部員が出社できず引渡しができない。	2	2	4
	台風の上砂災害で交通が寸断され社長他営業部員が出社できず引渡しができない。	2	1	2
機械装置・設備	津波により事務所に保管しているストップウォッチ、計測器類、パソコンが浸水し、使えなくなる。	3	2	6
	震度6強の地震で、広域に停電しパソコン、コピー機が稼働できず作業が中断。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	1	2	2
	津波でパソコン、コピー機が浸水し、使用できなくなる。	1	3	3
IT・データ	震度6強の地震で事務所が崩壊し、引渡書のデータ喪失。	2	2	4
	津波で事務所が浸水し、引渡書のデータ喪失。	2	2	4
通信				
外注・サプライヤー	震度6強の地震でエンジンメーカーが被災。動作確認の依頼ができなくなった。	2	2	4
	津波でエンジンメーカーが被災。動作確認の依頼ができなくなった。	2	2	4
	震度6強の地震・津波の影響で、検査官・船長・航海士が来社できなくなる。	3	2	6
インフラ・その他	震度6強の地震で、広域に停電し機械装置は作動不可。自家発電装置に被害がない場合は、500KWの電力が確保でき作業再開可能。(手動切り替えが必要)	3	2	6
	津波で自家発電装置が被災。給電不可。	3	3	9
	津波で発注先の重油備蓄タンクが倒壊し、燃料積み込み不可。	3	3	9

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務:(契約)

想定被害	地震(震度6強)・津波	
基本対応	造船業は完全な受注生産で、引渡し期日の厳守はおお客様の信頼を守る上の生命線である。人的安全確保と設備等周囲の安全を確認後、協力会社と連携し早期に生産活動の復旧を図る。	
目標復旧時間	2日	

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	実施時期	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	・緊急時に自宅作業が行えるよう、データ保管をクラウド化する。 ・交代要員(総務担当者)へのトレーニング実施。	・20**年**月 ・20**年**月	・(**/月...ITデータと同時)	・担当者が出社できない場合は、自宅のPCから書類作成・顧客とのやり取りを行う。 ・交代要員(総務担当者)が対応する。	・**日 ・**日	
機械装置 ・設備				・応急処置として手書きで契約書を作成する。 ・パソコン、コピー機は修理不能の場合、購入する。	・**日 ・**日	・購入**
IT・データ	・データ保管をクラウド化する。(積算データ、様式データ、契約書(紙媒体はデジタル化する))	・20**年**月	・**/月	・クラウドから復旧させる。	・**日	
通信	・PHS、携帯電話の使用可能な環境を確認し、電話機を備える。	・20**年**月	・**	・PHS、携帯電話を使って顧客と連絡をとる。 ・場合によっては通信網が正常な地域まで移動し、顧客と連絡を取る。		
外注 ・サプライヤー						
インフラ・その他	(電気) ・緊急時に発電機をリースできる業者をリストアップしておく。	・20**年**月		・発電機をリースし起動させる。 ・修理可能な場合は、自家発電会社で早期の対応を要請する。	・**日 ・**日	・**/日・台 ・設置会社の資産であるため修理は無料

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務:(設計)

想定被害	地震(震度6強)・津波	
基本対応	造船業は完全な受注生産で、引渡し期日の厳守はお客様の信頼を守る上の生命線である。人的安全確保と設備等周囲の安全を確認後、協力会社と連携し早期に生産活動の復旧を図る。	
目標復旧時間	3日	

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	実施時期	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	・OB名簿の作成。	・20**年**月		・基本的に担当者の出社を待つ。 ・出社が大幅に遅延する場合は、OB人材を活用する。	・**日 ・**日	
機械装置 ・設備				・パソコンは修理不能の場合、購入する。	・**日	・購入**/台
IT・データ	・設計データの保管をクラウド化する。(紙媒体はデジタル化する)	・20**年**月	・**/月	・設計データはクラウドから復旧する。 ・設計ソフトはメーカーから再インストールする。	・**日 ・**日	・**
通信	・PHS、携帯電話の使用可能な環境を確認し、電話機を備える。	・20**年**月	・**	・PHS、携帯電話を使って顧客と連絡をとる。 ・場合によっては通信網が正常な地域まで移動し、顧客と連絡を取る。		
外注 ・サプライヤー	・代替業者のリストアップ(市、県外設計業者の受注能力、連絡先等を取りまとめる)	・20**年**月		・代替業者への依頼を行う。	・**日	
インフラ・その他	(電気) ・緊急時に発電機をリースできる業者をリストアップしておく。	・20**年**月		・発電機をリースし起動させる。 ・修理可能な場合は、自家発電設置会社に早期の対応を要請する。	・**日 ・**日	・**/日・台 ・設置会社の資産であるため修理は無料

【様式 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務：(加工)

想定被害	地震(震度6強)・津波
基本対応	造船業は完全な受注生産で、引渡し期日の厳守はおお客様の信頼を守る上の生命線である。人的安全確保と設備等周囲の安全を確認後、協力会社と連携し早期に生産活動の復旧を図る。
目標復旧時間	30日

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	実施時期	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	・外注依頼先のリストアップ	・20**年**月		・基本的には技術者の出社を待つ。 ・休止が長引く場合は、外注(他社での実施)を行う。	・**~**日	・**
機械装置・設備	(NC切断機) ・NC切断機の外側に津波による浸水防止壁(鉄壁)を設置する。 (××プレス) (ホイストクレーン)	・20**年**月	・**	・製造メーカーに早期の修理対応を要請する。 ・修理不能な場合は購入。 ・修理業者へ早期の修理対応を要請する。 ・修理不能な場合は購入。 ・修理業者へ早期の修理対応を依頼する。 ・修理不能な場合は購入。	・**日 ・**~**ヶ月 ・**週間 ・**~**ヶ月 ・**日 ・**~**ヶ月	・** ・**/台 ・** ・**/台 ・** ・**/台
IT・データ	・NC切断データの保管をクラウド化する。	・20**年**月	・**/月	・NC切断データはクラウドから復旧する。	・**日	
通信						
外注・サプライヤー	・鉄板切断を依頼できる業者をリストアップする。 ・曲げ加工を依頼できる業者をリストアップする。	・20**年**月 ・20**年**月		・他社に切断データを交換し、切断を依頼する。 ・他社に曲げ加工を依頼する。	・**~**日 ・**~**日	・** ・**
インフラ・その他	(電気) ・緊急時に発電機をリースできる業者をリストアップしておく。 (水道) (ガス・酸素) (エア) ・緊急時にコンプレッサーをリースできる業者をリストアップしておく。	・20**年**月 ・20**年**月		・発電機をリースし起動させる。 ・修理可能な場合は、自家発電会社に早期の対応を要請する。 ・飲料用を優先し、公共の水道の復旧を待つ。 ・タンク、集合装置の元バルブを閉め、配管破損箇所からの漏れを止める。 ・ガス検を行い安全を確認後、場内配管業者で修理する。 ・可搬式のボンベで対応する。 ・タンクの破損は設置業者へ早期修理の対応を要請する。 ・コンプレッサーをリースし稼働させる。 ・場内配管業者で破損箇所を修理する。	・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日	・**/日・台 ・設置会社の資産であるため修理は無料 ・業者資産のため修理は無料 ・**/日 ・**

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務:(地上組立)

想定被害	地震(震度6強)・津波	
基本対応	造船業は完全な受注生産で、引渡し期日の厳守はおお客様の信頼を守る上の生命線である。人的安全確保と設備等周囲の安全を確認後、協力会社と連携し早期に生産活動の復旧を図る。	
目標復旧時間	30日	

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	実施時期	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	・外注依頼先のリストアップ	・20**年**月		・基本的には技術者の出社を待つ。 ・休止が長引く場合は、外注(他社での実施)を行う。	・**~**日	・**
機械装置・設備	(ホイストクレーン) (溶接機) (ヤード)			・修理業者へ早期の修理対応を依頼する。 ・修理不能な場合は購入。 ・修理業者へ溶接機の早期修理対応を要請する。 ・修理不能な場合は購入。 ・被害を受ける可能性は極めて低い。	・**日 ・**~**ヶ月 ・**日 ・**日	・** ・**/台 ・**/台 ・**~**/台
IT・データ				・紛失した場合は再発行する。	・**日	
通信						
外注・サプライヤー	・地上組立を依頼できる業者をリストアップする。	・20**年**月		・他社に地上組立を依頼する。	・**~**日	・**
インフラ・その他	(電気) ・緊急時に発電機をリースできる業者をリストアップしておく。 (ガス・酸素・二酸化炭素)	・20**年**月		・発電機をリースし起動させる。 ・修理可能な場合は、自家発電設置会社に早期の対応を要請する。 ・タンク、集合装置の元バルブを閉め、配管破損箇所からの漏れを止める。 ・ガス検を行い安全を確認後、場内配管業者で修理する。 ・可搬式のボンベで対応する。 ・タンクの破損は設置業者へ早期修理の対応を要請する。	・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**ヵ月	・**/日・台 ・設置会社の資産であるため修理は無料 ・業者資産のため修理は無料
	(エアー) ・緊急時にコンプレッサーをリースできる業者をリストアップしておく。	・20**年**月		・コンプレッサーをリースし稼働させる。 ・場内配管業者で破損箇所を修理する。	・**日 ・**日	・**/日 ・**

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務: (先行艀装)

想定被害	地震(震度6強)・津波
基本対応	造船業は完全な受注生産で、引渡し期日の厳守はお客様の信頼を守る上の生命線である。人的安全確保と設備等周囲の安全を確認後、協力会社と連携し早期に生産活動の復旧を図る。
目標復旧時間	30日

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	実施時期	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	・外注依頼先のリストアップ	・20**年**月		・基本的には技術者の出社を待つ。 ・休止が長引く場合は、他の外注業者に来てもらう。	・**日	・**
機械装置・設備	(ホイストクレーン)	・実施済み		・修理業者へ早期の修理対応を依頼する。 ・修理不能な場合は購入。	・**日 ・**~**ヶ月	・** ・**/台
	(ジブクレーン) ・ジブクレーン走行逸走防止装置を装備。			・修理業者へ早期の修理対応を依頼する。 ・長期の広域停電や受電設備の修理不能な場合は、リースの発電機をクレーン本体に搭載し移動させる。 ・地震が発生し、大津波警報が出た場合は、逸走防止装置を機能させる。	・**日 ・**日	・**~** ・**
	(溶接機・塗装機材)			・修理業者へ溶接機の早期修理対応を要請する。 ・修理不能な場合は購入。	・**日 ・**日	・**/台 ・**~**/台
IT・データ				・紛失した場合は再発行する。	・**日	
通信						
外注・サプライヤー	・艀装品製作者、艀装協力会社を依頼できる業者をリストアップする。			・艀装品製作者が被災した場合は代替業者に依頼する。 ・メーカーが被災した場合は、復旧を待つ。 ・艀装協力会社が出社できない場合は、他の外注業者に来てもらう。	・**日	・**
インフラ・その他	(電気) ・緊急時に発電機をリースできる業者をリストアップしておく。	・20**年**月		・発電機をリースし起動させる。 ・修理可能な場合は、自家発電設置会社に早期の対応を要請する。	・**日 ・**日	・**/日・台 ・設置会社の資産であるため修理は無料
	(ガス・酸素・二酸化炭素)			・タンク、集合装置の元バルブを閉め、配管破損箇所からの漏れを止める。 ・ガス検を行い安全を確認後、場内配管業者で修理する。 ・可搬式のボンベで対応する。 ・タンクの破損は設置業者へ早期修理の対応を要請する。	・**日 ・**日 ・**日 ・**ヶ月	・** ・業者資産のため修理は無料
	(エア) ・緊急時にコンプレッサーをリースできる業者をリストアップしておく。	・20**年**月		・コンプレッサーをリースし移動させる。 ・場内配管業者で破損箇所を修理する。	・**日 ・**日	・**/日 ・**

【様式 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務: (船台組立・進水)

想定被害	地震(震度6強)・津波
基本対応	造船業は完全な受注生産で、引渡し期日の厳守はお客様の信頼を守る上の生命線である。人的安全確保と設備等周囲の安全を確認後、協力会社と連携し早期に生産活動の復旧を図る。
目標復旧時間	30日

分類	事前対応			緊急時対応			
	対策内容	実施時期	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)	
人	・外注依頼先のリストアップ	・20**年**月		・基本的には技術者の出社を待つ。 ・休止が長引く場合は、他の外注業者に来てもらう。	・**日	・**	
機械装置・設備	(高所作業車) ・緊急時に高所作業車をリースできる業者をリストアップする。	・20**年**月		・修理業者へ早期の修理対応を要請する。 ・修理不能な場合は購入。 ・高所作業車をリースし稼働させる。	・**日 ・**ヵ月 ・**日	・** ・** ・**/日	
	(ジブクレーン) ・ジブクレーン走行逸走防止装置を装備。	・実施済み		・修理業者へ早期の修理対応を依頼する。 ・長期の広域停電や受電設備の修理不能な場合は、リースの発電機をクレーン本体に搭載し稼働させる。 ・地震が発生し、大津波警報が出た場合は、逸走防止装置を機能させる。	・**日 ・**日	・**~** ・**	
	(溶接機)			・修理業者へ溶接機の早期修理対応を要請する。 ・修理不能な場合は購入。	・**日 ・**日	・**/台 ・**~**/台	
	(船台ゲート) ・ゲートに流出防止装置を取付ける。	・20**年**月	・**	・ゲートを含む船台復旧工事を実施する。	・**~**ヶ月	・**	
IT・データ				・紛失した場合は再発行する。	・**日		
通信				・代替無線機を購入する。	・**日	・**	
外注・サプライヤー	・代替の協力会社、運搬業者をリストアップする。 ・県外タグボート業者の保有船舶及び能力、連絡先等を取りまとめる。	・20**年**月 ・20**年**月		・協力会社、運搬業者が被災した場合は代替業者に依頼する。 ・タグボート業者が被災した場合は、代替業者に依頼する。	・**日	・**	
インフラ・その他	(電気) ・緊急時に発電機をリースできる業者をリストアップしておく。	・20**年**月		・発電機をリースし起動させる。 ・修理可能な場合は、自家発電会社へ早期の対応を要請する。	・**日 ・**日	・**/日・台 ・設置会社の資産であるため修理は無料	
	(ガス・酸素・二酸化炭素)			・タンク、集合装置の元バルブを閉め、配管破損箇所からの漏れを止める。 ・ガス検を行い安全を確認後、場内配管業者で修理する。 ・可搬式のボンベで対応する。	・**日 ・**日 ・**日	・**	
				・タンクの破損は設置業者へ早期修理の対応を要請する。	・**ヵ月	・業者資産のため修理は無料	
	(エアール)	・緊急時にコンプレッサーをリースできる業者をリストアップしておく。	・20**年**月		・コンプレッサーをリースし稼働させる。 ・場内配管業者で破損箇所を修理する。	・**日 ・**日	・**/日 ・**
	(水道)			・飲料用を優先し、公共の水道の復旧を待つ。			
	(軽油)			・復旧を待つ。			

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務: (艦装)

想定被害	地震(震度6強)・津波	
基本対応	造船業は完全な受注生産で、引渡し期日の厳守はお客様の信頼を守る上の生命線である。人的安全確保と設備等周囲の安全を確認後、協力会社と連携し早期に生産活動の復旧を図る。	
目標復旧時間	30日	

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	実施時期	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	・外注依頼先のリストアップ	・20**年**月		・基本的には技術者の出社を待つ。 ・休止が長引く場合は、他の外注業者に来てもらう。	・**日	・**
機械装置・設備	(ジブクレーン) ・ジブクレーン走行逸走防止装置を装備。 (溶接機・塗装機材)	・実施済み		・修理業者へ早期の修理対応を依頼する。 ・長期の広域停電や受電設備の修理不能な場合は、リースの発電機をクレーン本体に搭載し稼働させる。 ・地震が発生し、大津波警報が出た場合は、逸走防止装置を機能させる。 ・修理業者へ溶接機の早期修理対応を要請する。 ・修理不能な場合は購入。	・**日 ・**日 ・**日 ・**日	・** ~ ** ・** ・**/台 ・** ~ **/台
IT・データ				・紛失した場合は再発行する。	・**日	
通信						
外注・サプライヤー	・艦装品製作者、艦装協力会社を依頼できる業者をリストアップする。			・艦装品製作者が被災した場合は代替業者に依頼する。 ・メーカーが被災した場合は、復旧を待つ。 ・艦装協力会社が出社できない場合は、他の外注業者に来てもらう。	・**日	・**
インフラ・その他	(電気) ・緊急時に発電機をリースできる業者をリストアップしておく。 (ガス・酸素・二酸化炭素) (エア) ・緊急時にコンプレッサーをリースできる業者をリストアップしておく。 (水道)	・20**年**月 ・20**年**月		・発電機をリースし起動させる。 ・修理可能な場合は、自家発電設置会社に早期の対応を要請する。 ・タンク、集合装置の元バルブを閉め、配管破損箇所からの漏れを止める。 ・ガス検を行い安全を確認後、場内配管業者で修理する。 ・可搬式のボンベで対応する。 ・タンクの破損は設置業者へ早期修理の対応を要請する。 ・コンプレッサーをリースし稼働させる。 ・場内配管業者で破損箇所を修理する。 ・飲料用を優先し、公共の水道の復旧を待つ。	・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日	・**/日・台 ・設置会社の資産であるため修理は無料 ・** ・業者資産のため修理は無料 ・**/日 ・**

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務:(試運転・引渡し)

想定被害	地震(震度6強)・津波	
基本対応	造船業は完全な受注生産で、引渡し期日の厳守はお客様の信頼を守る上の生命線である。人的安全確保と設備等周囲の安全を確認後、協力会社と連携し早期に生産活動の復旧を図る。	
目標復旧時間	10日	

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	実施時期	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	・外注依頼先のリストアップ	・20**年**月		・基本的には技術者の出社を待つ。(特に計測要員は代替が困難なため出社を待つ以外に無い) ・休止が長引く場合は、他の外注業者に来てもらう。	・**日	
機械装置 ・設備				・パソコン、コピー機等は修理不能の場合、購入する。	・**日	・購入**
IT・データ	・データ保管のクラウド化を行う。	・20**年**月	・**/月	・応急処置として手書きで引渡書を作成する。	・**日	
通信						
外注 ・サプライヤー	・検査官・船長・航海士をリストアップする。	・20**年**月		・外注エンジニアが被災した場合は、復旧を待つ。 ・検査官・船長・航海士が被災した場合、他者に来てもらう。	・**日	
インフラ・その他	(電気) ・緊急時に発電機をリースできる業者をリストアップしておく。 (重油)	・20**年**月		・発電機をリースし起動させる。 ・修理可能な場合は、自家発電設置会社に早期の対応を要請する。 ・供給復旧を待つ。 ・被災の無い地域から購入する。	・**日 ・**日 ・**日	・**/日・台 ・設置会社の資産であるため修理は無料

各社の実情に応じて記入すること。

復旧費用

	復旧費用金額	備考
機械装置・設備		
IT・データ		
通信		
ライフライン		
その他		
小計(A)		

業務中断期間の損失

	金額	備考
商品・原材料喪失		
売上高(目標 - 予想)		
粗利益(目標 - 予想)		
販売・管理費(目標 - 予想)		
営業利益(目標 - 予想)		
小計(B)		+

手持ち資金の積算

	金額	備考
現金・預金		
損害保険金		
経営者からの支援		
小計(C)		

資金調達の是非の確認

	金額	備考
- (+)		マイナスであれば資金調達

資金調達先の検討

	金額	備考
調達資金合計		

教育・訓練計画

名称	期日	目的・内容
教育	毎年××月	一般社員を対象とした防災・BCP意識高揚教育 (実施内容) ・防災・BCPの目的・意義 ・当社のBCP対応体制及び人員配置(果たすべき役割) ・計画の説明 ・実施の手順(具体的にとるべき行動に関する知識) ・日頃の心構え ・対応策の検討 等
訓練	毎年××月	防災の日に合わせて実施(地震・津波対策) (実施内容) ・机上訓練(対象:BCP平時運用体制、緊急時対策本部メンバー) 地震と津波を想定した初動活動・復旧復活のシュミレーション (BCPのチェック、是正、メンバーの教育(財務管理・資金運用)を含む) ・実地訓練(対象:全社員) 地震と津波を想定した初動活動と指定場所への避難訓練

【様式 : BCP運用チェックリスト】

期 日	年 月 日
部門名	
部門長名	

BCP運用チェックリスト

No	内 容	チェック
1	本計画の目的に変更はないか	
2	企業情報に大きな変更はないか	
3	BCPの基本方針に変更はないか	
4	対象としている災害に変更はないか	
5	重要事業の特定に変更はないか	
6	重要業務の特定に変更はないか	
7	目標復旧時間の変更はないか	
8	重要業務に必要な経営資源の内容に大きな変更はないか	
9	重要業務が受ける被害の想定に変更はないか	
10	重要業務のリスク評価に変更はないか	
11	事業継続のための対応策はこれで良いか	
12	BCP対応体制の仕組みはこれで良いか	
13	BCP対応体制表のメンバーに変更はないか	
14	初動対応の進め方はこれで良いか	
15	BCP発動の進め方はこれで良いか	
16	復旧活動の進め方はこれで良いか	
17	財務計画の進め方はこれで良いか	
18	教育・訓練の進め方はこれで良いか。教育・訓練は予定通り実行されているか	
19	点検の進め方はこれで良いか。事前対策・緊急時対応は準備ができているか	
20	是正の進め方はこれで良いか	
21	見直しの進め方はこれで良いか	
22	その他の点について問題はないか	

特記事項	
------	--

出社対象者、安否確認者は、印でチェックしてください！

氏名	部署	役職	主な資格、技術	電話番号	携帯電話番号	携帯メールアドレス	緊急連絡先 (家族など)	安否確認 チェック	備考
1				***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
2				***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
3				***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
4			「ホ」「ワ」「玉」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
5			「高」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
6				***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
7				***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
8			「ホ」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
9			「ホ」「ワ」「玉」「高」「ガ」「ア」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
10			「ク」「玉」「高」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
11			「ホ」「ワ」「ガ」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
12			「ホ」「ワ」「玉」「高」「ガ」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
13				***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
14			「ホ」「ワ」「玉」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
15				***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
16			「ホ」「ワ」「玉」「高」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
17			「ク」「ワ」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
18			「ク」「ワ」「玉」「高」「ガ」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
19			「玉」「ア」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
20			「ワ」「玉」「高」「ガ」「ア」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
21				***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
22			「ホ」「ワ」「高」「ガ」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
23			「ワ」「玉」「ガ」「ア」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		
24			「ホ」「ワ」「玉」「高」「ガ」「ア」	***_***_****	***_***_****	***@***.***	***_***_****		

「ク」「ホ」「ワ」「玉」「高」「ガ」「ア」

「ク」=クレーン免許

「ホ」=ホイスト技能講習

「ワ」=フォークリフト技能講習

「高」=高所作業車技能講習

「玉」=玉掛技能講習

「ガ」=ガス溶接技能講習

「ア」=アーク特別教育

【様式 -1:主要取引先リスト】

H × 年 × 月 × 日更新

区分	項目	企業・機関名	担当者	電話	携帯電話	備考
主要顧客				***_***_****	***_****_****	受注生産のため 変化する
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
協力会社				***_***_****	***_****_****	詳細は「協力会社 リスト」参照
仕入先企業				***_***_****	***_****_****	その他は「仕入 先リスト」参照
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
機械・メンテナ ンス設備業者				***_***_****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
原材料				***_***_****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
物流				***_***_****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
ライフライン				***_***_****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
官公庁				***_***_****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
組合				***_***_****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
金融機関				***_***_****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
その他				***_***_****	***_****_****	

【様式 -2:仕入先リスト】

H ×年 ×月 ×日更新

区分	項目	企業・機関名	担当者	電話	携帯電話	備考
仕入先企業				***_***_****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	
				__****	***_****_****	

【様式 -3: 協力会社リスト】

H × 年 × 月 × 日更新

区分	企業名	代表者名	電話	携帯電話	備考
協力会社			***_***_****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	
			__****	***_****_****	

【様式 : 避難計画・避難経路図】

避難計画

就業時の災害発生時においては、従業員の人命維持と身体の安全確保を最優先とした対応を図るものとし、建物内、敷地内での残留に危険を感じた場合は、直ちに避難所へ避難を行うものとする。

避難は、BCP対策本部長の避難命令の発動と、避難誘導責任者の指示に従い、予め定められた避難経路図に沿って行うものとする。

ただし、地震、火災、爆発等緊急を要するものについては、現場状況に応じた対応を行うものとする。

避難経路図 及び 危険マップ

平面図、地図などを用いて分かりやすく表示すること。

事業所名	株式会社 C社
避難場所 (集合場所)	本社工場 A工場
避難誘導責任者 (代理責任者)	本社工場 A工場
避難誘導時の注意点	津波発生時は、速やかに非常持ち出し物を、担当者は責任を持って運び出す。但し、生命の安全が最優先

【様式 : 備蓄品リスト】

☑ チェックしてください!

本社工場

項目	備蓄量	更新日	整備状況 チェック
救急箱	× × セット		
衛生用具類(ウエットティッシュ、 トイレトペーパーなど)	ウエットティッシュ(× ×)、トイレトペーパー(× ×)、 生理用品		
タオル	× × 枚		
ラジオ(乾電池型、手巻充電器型)と予備乾電池	× × 台		
懐中電灯と予備乾電池	懐中電灯 × × 個・ 予備乾電池(単3) × × 本		
従業員分の水 (1人当たり1日3リットルが目安)	× × 名(× × 0) ペットボトル × × 本		
食料	カップ麺 × × 食、 缶詰(おかず) × × * 2 食分		
工具類(パール、ペンチ、ハンマー、シャベル他)	1ヶ所保管		
軍手・防塵マスク	軍手(全従業員人数分)・ 防塵マスク(全従業員人数分)		
ビニールシート及び布テープ	シート(大) × × 枚 布テープ × × 巻		
ブルーシート	(大) × × 枚		
簡易トイレ製品(又は、トイレ用ビニール袋及ビ ニールテープ)	角スコップ × × 本、ビニール袋(大 × ×、中 × ×)		
毛布	× × 枚 (従業員、協力会含む)		
携帯電話の充電器	各自のメーカー別に用意		
拡声器	× × 台		
プラコップ、箸、スプーン	× × 名分 × 1 日分		
ガムテープ	× × 個		
ポリタンク	× × 個		
カセットコンロ	× × 台		
カセットコンロ用カセットボンベ	× × 本		
湯沸し用ヤカン	× × 台		

【様式 : 備蓄品リスト】

☑ チェックしてください!

A工場

項目	備蓄量	更新日	整備状況 チェック
救急箱	× × セット		
衛生用具類(ウエットティッシュ、 トイレトペーパーなど)	ウエットティッシュ(× ×)、トイレトペーパー(× ×)		
タオル	× × 枚		
ラジオ(乾電池型、手巻充電器型)と予備乾電池	× × 台		
懐中電灯と予備乾電池	懐中電灯× × 個・ 予備乾電池(単3)× × 本		
従業員分の水 (1人当たり1日3リットルが目安)	× × 名(× × 0) ペットボトル× × 本		
食料	カップ麺× × 食、 缶詰(おかず)× × * 2食分		
工具類(パール、ペンチ、ハンマー、シャベル他)	1ヶ所保管		
軍手・防塵マスク	軍手(全従業員人数分)・ 防塵マスク(全従業員人数分)		
ビニールシート及び布テープ	シート(大)× × 枚 布テープ× × 巻		
ブルーシート	(大)× × 枚		
簡易トイレ製品(又は、トイレ用ビニール袋及ビ ニールテープ)	角スコップ× ×、ビニール袋(大× ×、中× ×)		
毛布	× × 枚 (従業員)		
携帯電話の充電器	各自のメーカー別に用意		
拡声器	× × 台		
プラコップ、箸、スプーン	× × 名分× 1日分		
ポリタンク	× × 個		
カセットコンロ	× × 台		
カセットコンロ用カセットボンベ	× × 本		
湯沸し用ヤカン	× × 台		

【様式 : 従業員携帯カード】

各部署、各従業員が、被災時の連絡先や自分のやるべきことについて記入しましょう。
記入したものは、定期入れや財布に納め常に携帯するようにしてください。

<h1 style="margin: 0;">従業員携帯カード</h1> <h2 style="margin: 0;">株式会社 C社</h2>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> [1]携帯電話(災害伝言板サービス) </div> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%; text-align: center;">au</td> <td style="width:15%;">トップメニュー ⇒ 災害用伝言板</td> <td style="width:25%;">5つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可</td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:20%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ソフトバンク</td> <td>Yahoo!ケータイ ⇒ 災害用伝言板</td> <td>4つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可</td> <td>1電話番号につき10件登録可能</td> <td>設定されたアドレスに安否情報を送信</td> <td> ①伝言板トップから「確認」を選択 ②確認したい電話番号を入力・検索 ③安否情報を選択 ④安否情報が表示 http://dengon.ezweb.ne.jp http://dengon.softbank.ne.jp http://dengon.doco.ne.jp/top.cgi </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Fコード</td> <td>i-menu⇒ 災害用伝言板</td> <td>4つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	au	トップメニュー ⇒ 災害用伝言板	5つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可				ソフトバンク	Yahoo!ケータイ ⇒ 災害用伝言板	4つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可	1電話番号につき10件登録可能	設定されたアドレスに安否情報を送信	①伝言板トップから「確認」を選択 ②確認したい電話番号を入力・検索 ③安否情報を選択 ④安否情報が表示 http://dengon.ezweb.ne.jp http://dengon.softbank.ne.jp http://dengon.doco.ne.jp/top.cgi	Fコード	i-menu⇒ 災害用伝言板	4つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可								
au	トップメニュー ⇒ 災害用伝言板	5つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可																						
ソフトバンク	Yahoo!ケータイ ⇒ 災害用伝言板	4つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可	1電話番号につき10件登録可能	設定されたアドレスに安否情報を送信	①伝言板トップから「確認」を選択 ②確認したい電話番号を入力・検索 ③安否情報を選択 ④安否情報が表示 http://dengon.ezweb.ne.jp http://dengon.softbank.ne.jp http://dengon.doco.ne.jp/top.cgi																			
Fコード	i-menu⇒ 災害用伝言板	4つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可																						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> [2]安否確認ルール </div> <p>基本ルール 安否情報を所属長へ連絡する。所属長への連絡がつかない場合、対策本部のアドレスへメールまたは電話を通じて報告する。</p> <p>報告内容 本人および同居家族の安否 自宅の損傷状況、出社の見込み 避難している場合、その場所・電話番号</p> <p>報告を行う場合は以下のいずれか</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%; text-align: center;">安否確認実施基準</td> <td> 1. 電話(固定電話、携帯電話) 2. 携帯メール 3. 災害伝言ダイヤル(NTT災害伝言ダイヤル171) 4. 携帯電話「災害伝言板サービス」 5. 直接出社 </td> </tr> </table>	安否確認実施基準	1. 電話(固定電話、携帯電話) 2. 携帯メール 3. 災害伝言ダイヤル(NTT災害伝言ダイヤル171) 4. 携帯電話「災害伝言板サービス」 5. 直接出社	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> [3]会社への連絡 </div> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">会社 電話番号</td> <td style="text-align: center;">***-***-****</td> </tr> <tr> <td>社長 携帯番号</td> <td style="text-align: center;">***-****-****</td> </tr> <tr> <td>部長 携帯番号</td> <td style="text-align: center;">***-****-****</td> </tr> <tr> <td>社長 自宅番号</td> <td style="text-align: center;">***-***-****</td> </tr> </table>	会社 電話番号	***-***-****	社長 携帯番号	***-****-****	部長 携帯番号	***-****-****	社長 自宅番号	***-***-****	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> [4]災害情報入手先 </div> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">道路交通情報</td> <td style="width:45%;">大分県道路規制情報提供システム</td> <td style="width:40%; text-align: center;">http://dourokisei.pref.oita.jp/</td> </tr> <tr> <td>気象情報</td> <td>大分地方気象台</td> <td style="text-align: center;">http://www.jma-net.go.jp/oita/</td> </tr> <tr> <td>災害情報1</td> <td>大分県緊急災害情報</td> <td style="text-align: center;">http://www.bousai-oita.jp/pc/index.html</td> </tr> <tr> <td>災害情報2</td> <td>河川水位・土砂災害情報</td> <td style="text-align: center;">http://river.pref.oita.jp/</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">これらの情報は大分県防災対策リンクサイト集 (http://www.ksamtys.net/bousai/jichitai/oita.html)から入手できます</p>	道路交通情報	大分県道路規制情報提供システム	http://dourokisei.pref.oita.jp/	気象情報	大分地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/oita/	災害情報1	大分県緊急災害情報	http://www.bousai-oita.jp/pc/index.html	災害情報2	河川水位・土砂災害情報	http://river.pref.oita.jp/
安否確認実施基準	1. 電話(固定電話、携帯電話) 2. 携帯メール 3. 災害伝言ダイヤル(NTT災害伝言ダイヤル171) 4. 携帯電話「災害伝言板サービス」 5. 直接出社																							
会社 電話番号	***-***-****																							
社長 携帯番号	***-****-****																							
部長 携帯番号	***-****-****																							
社長 自宅番号	***-***-****																							
道路交通情報	大分県道路規制情報提供システム	http://dourokisei.pref.oita.jp/																						
気象情報	大分地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/oita/																						
災害情報1	大分県緊急災害情報	http://www.bousai-oita.jp/pc/index.html																						
災害情報2	河川水位・土砂災害情報	http://river.pref.oita.jp/																						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> [5]NTT災害伝言ダイヤル171をする </div> <p style="text-align: center;">ガイドンスにのって下さい</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> [6]初期行動 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>外出・通勤時</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として帰社(外出先が自宅に近い場合は帰宅するなど状況により判断) 帰宅後、安否報告ルールに従い、会社に安否等を報告 </div> <div style="width: 45%;"> <p>早朝・夜間・休日</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として指示があるまで自宅待機 安否報告ルールに従い、会社に安否等を報告する </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>就業時</p> <ul style="list-style-type: none"> 予め定めた初動対応の実施 自分の周辺の機器の電源をOFF 指示に従い避難 </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">まずチェック!</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:80%;">火の始末</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td> </td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td> </td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> </div>	火の始末	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> [7]行動要領 </div> <div style="display: flex;"> <div style="width: 50%; background-color: #e0e0ff; padding: 5px;"> <p>☆地震発生 ⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ●落ち着いて身の安全確保を!机の下などに入り身を守る 揺れがおさまったら ⇒ ●すばやく火の始末、初期消火 ●ドアや窓を開けて、出口を確保 ●スリッパや靴を履いて足を守る 安全が確認できたら ⇒ ●家族・隣近所の安全を確認 ●テレビ・ラジオなどで情報確認 ●消火・救出活動などに協力 </div> <div style="width: 50%; background-color: #e0e0ff; padding: 5px;"> <p>☆避難時の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家を出る前に出火防止対策 ●外に逃げるときはあわてない ●カバンなどで頭を保護し、落下部から離れる ●避難は徒歩で、荷物は最小限に ●狭い道路、塀ぎわ、がけや川べりに近寄らない ●山崩れ、がけ崩れ、津波に注意 ●自動車の運転中は、ゆっくりスピードを落とし、ハザードランプをつけて道路左側に停車しキーはつけたまま徒歩で避難 </div> </div>																
火の始末	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	<input type="checkbox"/>																							
	<input type="checkbox"/>																							

【様式 : 災害情報収集先一覧】

1. 避難場所情報

市危機管理対策・防災情報 <http://www.city.....>

2. 防災・災害情報

大分県緊急災害情報 <http://www.bousai-oita.jp/pc/bn.html>
大分県土砂災害情報 <http://sabo.pref.oita.jp/dosya/index.html>
大分県土木防災情報システム <http://www.pref.oita.jp/site/bosaianzen/>
大分県 土木事務所 <http://www.pref.oita.jp/.....>
大分地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/oita/>

3. ライフライン

九州電力 ホーム <http://www.kyuden.co.jp/>
九州電力 携帯メールサービス http://www.kyuden.co.jp/em_mail.html
九州電力 停電情報 <http://www.kyuden.co.jp/emergency.html>

ガス <http://www.....>
水道(市) Tel: ***-***-****
<http://.....>

NTT西日本
<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>
* 災害伝言ダイヤル 171
ソフトバンクテレコム おとくライン法人故障窓口 Tel: 0800-111-8811
http://tm.softbank.jp/otoku/business/?bid=1110ss_otoku

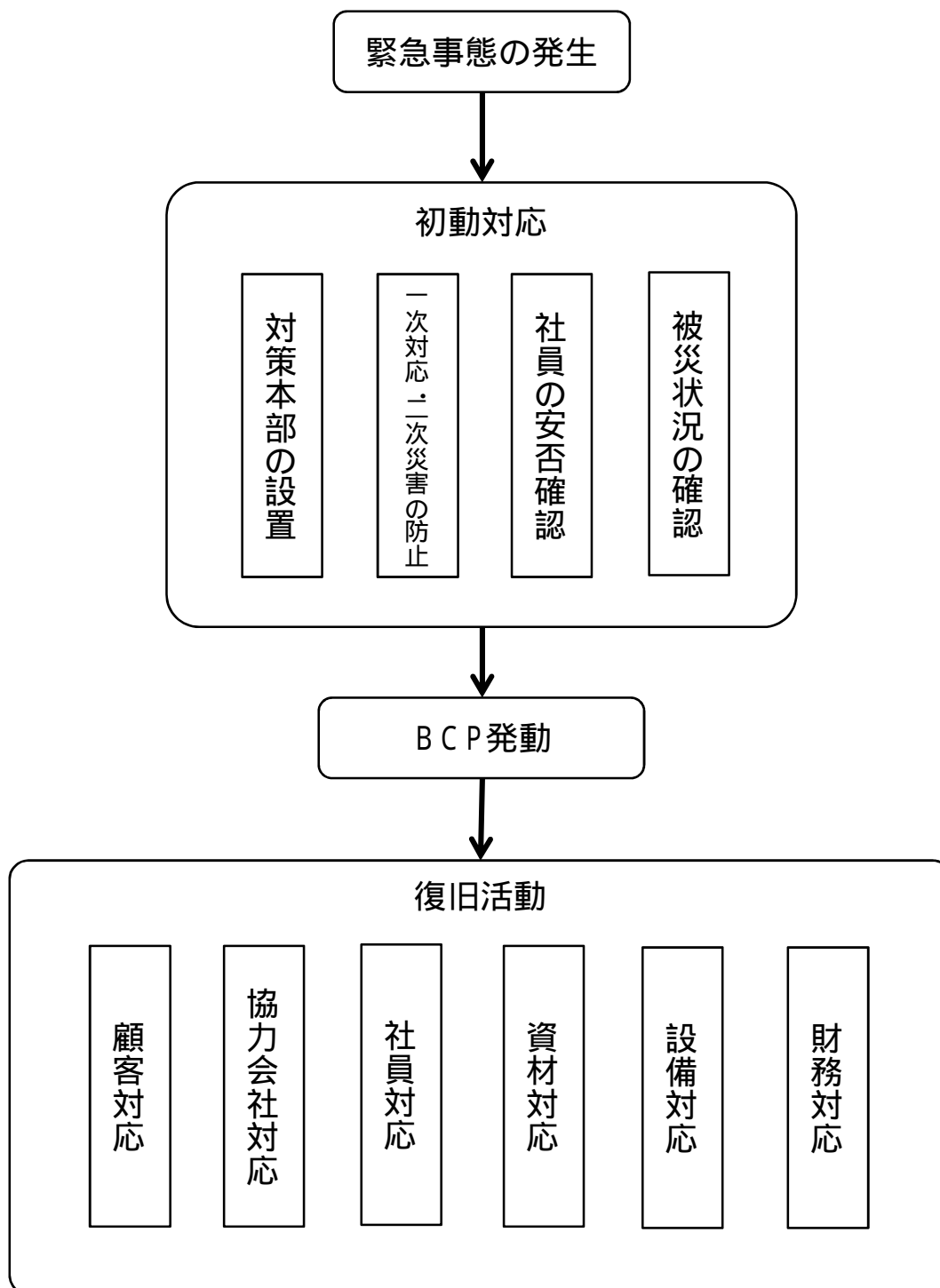
4. 交通情報

国土交通省 九州地方整備局 河川国道事務所
<http://www.qsr.mlit.go.jp/.....>
大分県道路規制情報提供システム
<http://dourokisei.pref.oita.jp/>
JARTIC 日本道路交通情報センター大分センター Tel: 050-3369-6644
http://www.jartic.or.jp/traffic/ippan/oitaken_m_all.html
JR九州列車運行情報
<http://www.jrkyushu.co.jp/trains/unkou.jsp>

5. 原発情報

四国電力 伊方発電所
<http://www.yonden.co.jp/energy/atom/index.html>

災害発生時の対応フロー



【手順書】

BCP対応体制

BCP構築プロジェクト

役職名	氏名	所属	主な担当業務
プロジェクトオーナー			
プロジェクトリーダー			
プロジェクトメンバー			
プロジェクトメンバー			
プロジェクトメンバー			
プロジェクトメンバー			
プロジェクトメンバー			

BCP平時運用体制

役職名	氏名	所属	主な担当業務
BCP管理担当			
教育訓練担当			
予防対策担当			
演習担当			

緊急時対策本部

役職名	氏名	所属	主な担当業務
対策本部長			
本部員			
初動対応グループ			
対策本部の設置			
二次災害防止班			
社員安否確認			
被災状況確認			
復旧活動グループ			
顧客対応班			
協力会社対応班			
社員対応班			
資材対応班			
設備対応班			
財務対応班			

【手順書】 初動対応「対策本部の設置」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
経営者の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・社外にいる場合、直ちに出社する。 ・出社までの間は、電話等で従業員に指示を出す。 		【様式：従業員連絡先リスト・安否確認チェックシート】
緊急時対策本部の設置	<ul style="list-style-type: none"> (本社が被災していない場合) ・本社事務所 電話番号：***-***-**** (本社事務所が被災した場合) ・社長宅(X市) 電話番号：***-***-**** 		【様式：従業員携帯カード】
【備考】			

【手順書】 初動対応「一次対応・二次災害の防止」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
災害情報に基づく対応	・当社が被害を受ける可能性のある情報(予報など)が入った場合、被害を最小限に抑えるよう可能な限りの対応を行う。被害を受ける可能性のある情報(予報)とは、台風情報、津波情報などである。		
事業所からの退避	・避難範囲・対象の決定。 ・事業場に留まっていると危険な場合、お客様や従業員を事業所の外の安全な場所に避難させる。 ・避難が必要な状況としては、津波の襲来、土砂災害、火災及び可燃性ガスの漏洩など。		【様式：避難計画・避難経路図】
応急手当や初期消火	・負傷者の救出や応急手当を行う。 ・火災が発生した場合は初期消火を行う。		【様式：避難計画・避難経路図】 【様式：備蓄品リスト】
警察・消防への通報	・火災・爆発発生時や救急車出動要請の場合は119番通報する。 ・公的機関との情報伝達の決定と通報。		【様式：従業員携帯カード】 【様式：災害情報収集先一覧】
重要書類の保護	・重要書類が破損する恐れのある場合、事業所内の安全な場所に移動するか、事業所外に持ち出す。 ・重要書類が破損した場合、予め別の場所に保管していた書類のコピーで然るべき処置を行う。		
【備考】			

【手順書】 初動対応「社員の安否確認」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
お客様、従業員とその家族の安否	<ul style="list-style-type: none"> ・来社中のお客様に負傷がないか確認する。 ・従業員とその家族に負傷はないか、住宅に損傷がないか確認する。 ・従業員と電話連絡が取れない場合、近所の別の従業員等に様子を見に行かせる。 		【様式：従業員連絡先リスト・安否確認チェックシート】
【備考】			

【手順書】 初動対応「被災状況の確認」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
工場建屋、機械装置・設備、通信機器	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の立ち入りに際し、安全が確認でき次第実施する。 ・工場建屋の損傷状況を調査する。 ・機械装置・設備の損傷状況を調査する。 		
情報システム、通信機器	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の立ち入りに際し、安全が確認でき次第実施する。 ・パソコン、各種ソフトが使えるか調査する。 ・一般電話、携帯電話、FAX、ネット等の通信機器が使えるか調査する。 		
地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・延焼火災や可燃性ガス漏洩等、直ちに避難が必要か調査する。 ・初期消火や下敷き者の救出等、地域貢献活動が必要な状況か否か把握する。 		
自然災害、交通やライフライン	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関や道路の破損状況を調査する。 ・電気、上下水道の供給状況を調べる。 		【様式：災害情報収集先一覧】
【備考】			

【手順書】-1BCP発動対応

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
連絡手段の確保	・顧客や協力会社との連絡手段を確保する。		【様式：従業員連絡先リスト・安否確認チェックシート】
顧客への被災状況報告	・顧客に対して、事業所内の設備及び建造船を含めた被災状況、今後の引渡し納期の目安、確実な連絡手段、次回の連絡時期を報告する。		【様式：主要取引先リスト】
協力会社の被災状況確認	・協力会社に対して、事業所の被災状況、今後の納品の目処、確実な連絡手段、次回の連絡時期について報告を求める。		【様式：主要取引先リスト】
【備考】			

【手順書】-2BCP発動対応

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
中核事業のダメージ判断	<ul style="list-style-type: none"> ・中核事業が被ったダメージの大きさを把握する。 ・中核事業の資源としては、顧客や協力会社、従業員、工場建屋や機械装置・設備や情報システム、ライフライン、交通システムなどがあげられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式：中核事業の業務分類】 【様式：各業務に必要な経営資源の確認】 【様式：各業務が受ける被害の想定とリスク評価】
目標復旧時間設定	<ul style="list-style-type: none"> ・予め検討していた「目標復旧時間の目処」をもとに、現在の被災状況、今後の事態発展の予測を考慮して設定する。 ・顧客の納得が得れるか、復旧後に経営が成立するか、また現実的かを総合的に考えて設定する。 ・下記の「財務の予測診断」の結果も考慮する。 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式：影響度評価と目標復旧時間の設定】 【様式：緊急時資金繰り計画書】
応急・復旧対策方針の決定	<ul style="list-style-type: none"> ・事業資源の被害が大きい場合、次のどの方針で目標復旧時間内に中核事業の復旧を目指すかを決定する。(組み合わせもある) 現在の事業所を復旧させて操業 代替場所に生産機械等を移動させて操業 他社等に生産を一時移管する 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式：各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】
財務の予測診断	<ul style="list-style-type: none"> ・財務診断モデルを用いて、復旧資金、今後のキャッシュフロー、不足資金を予測する。 ・予測結果は融資申請の際にも役立つ。 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式：緊急時資金繰り計画書】
実施体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮命令系統と役割分担を従業員に明示する。 ・必要ならば、OB、協力会、取引企業等から要員応援を仰ぐ。(応援を出す) 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式：BCP対策体制】
拠点場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所が損傷した場合、顧客や協力会社と連絡が取れ、従業員を指揮できる拠点場所を確保する。 		

【手順書】-3BCP発動対応

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
情報の整理	・手順書 -1、 -2の情報を整理し、復旧活動に向けた体制についての状況の把握を行う。		
BCP発動	・対策本部長は、上記の情報の整理や目標復旧時間等を勘案し、復旧に向けた活動を始める号令を発する。		
【備考】			

【手順書】 復旧活動「顧客対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
取引調整(他社等への一時移管を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客に対して、建造船引渡し納期等の計画を説明し了解を得る。 ・必要に応じて、他社での一時的な代替建造等を調整する。(建造途中のものは不可) ・顧客との取引ルールとして、他社での代替建造は一時的なものとする。 		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(緊急時対応)】
取引復元	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の事業資源が復旧した時点(進水後)で、代替建造を終了させ、顧客に被災前の取引に復元してもらう。 		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(緊急時対応)】
【備考】			

【手順書】 復旧活動「協力会社対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
協力会社との情報共有と生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・協力会社に対して事業継続方針を説明し、適宜その進捗状況を示す。 ・従業員の本人や家族が死傷した場合、出来る限りの配慮を行う。 ・家屋が被災した従業員に対して、可能であれば仮住宅を提供する。 		【様式：各業務の事業継続のための対応策(緊急時対応)】
【備考】			

【手順書】 復旧活動「社員対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
従業員との情報共有と生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員に対して事業継続方針を説明し、適宜その進捗状況を示す。 ・従業員の食事や日用品等を確保する。 ・従業員の本人や家族が死傷した場合、出来る限りの配慮を行う。 ・家屋が被災した従業員に対して、可能であれば仮住宅を提供する。 		【様式：各業務の事業継続のための対応策(緊急時対応)】
【備考】			

【手順書】 復旧活動「資材対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
取引調整(他社等への一時移管を含む)	<p>・協力会社に対して今後の納品等の計画の説明を求め、必要に応じて他社での一時的な代替生産等を調整する。(受注生産のものは基本的に代替不可能なため復旧を待つ。)</p> <p>・協力会社との取引ルールとして、他社での代替生産は一時的なものであり、復旧後は発注を戻すことを原則とする。</p>		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(緊急時対応)】
取引復元	<p>・協力会社の事業資源が復旧した時点で、代替生産を引き上げ、被災前の取引に復元する。(上記の調整結果どおり)</p>		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(緊急時対応)】
【備考】			

【手順書】 復旧活動「設備対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
建屋の修理・一時移転	・工場建屋が破損した場合、その修理を建設会社等に要請する。 (建設会社の候補) ・ ・		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(緊急時対応)】
生産機械の修理・調達	・生産機械の修理・調達を専門メーカー等に要請する。		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(緊急時対応)】
情報システムの回復	・パソコン等ハードウェアの修理・調達を専門メーカー等に要請する。 ・ソフトウェアの破損は、予めバックアップしていたデータを用いて回復させる。		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(緊急時対応)】
【備考】			

【手順書】 復旧活動「財務対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
<p>運転資金の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時発生後1ヶ月間、当面必要な運転資金を確保する。 ・銀行預金(積立金)を引き出す。 ・必要に応じて、地方自治体等の制度による緊急貸付を受ける。 		<p>【様式：緊急時資金繰り計画】</p>
<p>仕入支払い・給与支払い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り協力会社や納品業者等に対して過日分の支払いを行う。 ・出来る限り従業員に対して給料を支払う。 		<p>【様式：緊急時資金繰り計画】</p>
<p>復旧資金の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財務診断結果から、建物や生産機械の修理費用等、復旧に必要な費用を見積もる。 ・損害保険や共済の支払いを受ける。 ・証券等の資産を売却する。 ・必要に応じて、政府系金融機関等から災害復旧貸付を受ける。 		<p>【様式：緊急時資金繰り計画】</p>
<p>【備考】</p>			